

## 今週の株式相場見通し

- \* 日経平均 27,700~29,500円 TOPIX 1,820~1,940
- \* 期待材料 円安 半導体・電子部品関連市場の拡大 米国経済対策
- \* 不安材料 新型コロナの感染拡大 緊急事態宣言のさらなる長期化

2月4日までに各社から発表された決算は、製造業を中心に総じて堅調な業績回復が確認できる内容であった。中でも、半導体、電子部品関連の業績が好調に推移している。半導体不足に起因する自動車の減産リスクについても、電子部品業界からは1-3月期についても堅調な生産を見込むとする企業が多く、杞憂となりそうだ。一方で、村田製作所、TDKなどからは、米国による規制強化でスマホのシェアを落としたファーウェイの代替需要の取り込みを目論む中国系企業を中心とした各社のスマホの増産は過剰であり、3月以降に調整局面を想定するとの見方が示されている。もっとも、仮に調整局面が現実となっても、現在のトレンドに大きな変化をもたらすものではないと思われる。スマホについては、コロナ禍で落ち込んだ20年に対して、21年は回復が想定されることに加えて、半導体や電子部品の搭載容量、数量の大きい5G端末の供給が一段と増加することが見込まれる。5G環境の整備に伴い、あらゆるモノがネットにつながるIoT市場が拡大することで、センサや通信機能分野の拡大が見込まれる。IoT化を通じて集めたデータの貯蔵のためにデータセンター投資も促されるであろう。さらに、緒に就いたばかりの自動車の電動化、電装化の進展も半導体及び電子部品需要を大きく拡大させる。コロナ禍で各国が進める量的金融緩和政策に、上記のような技術革新が伴うことで、半導体、電子部品関連株を中心とした強気相場の継続が見込まれる。今後、現在の強気相場の転機としては、2つのパターンを想定する。1つは新型コロナワクチンの普及後に経済の回復が大きく進み、市場が量的緩和局面の終了を意識し始めた場合、株式市場からの資金が流出するリスクがある。もう1つは、ワクチン接種を進めても、新たな変異ウイルスの拡大などによって、感染拡大に歯止めがきかないような状況となった場合である。ワクチンに効果が期待出来ない状況においては、巨額の財政支援策長期化への懸念から、想定外の長期金利上昇につながるものと思われ、高バリュエーション株への警戒感が高まろう。(2月4日現在、多功 毅)

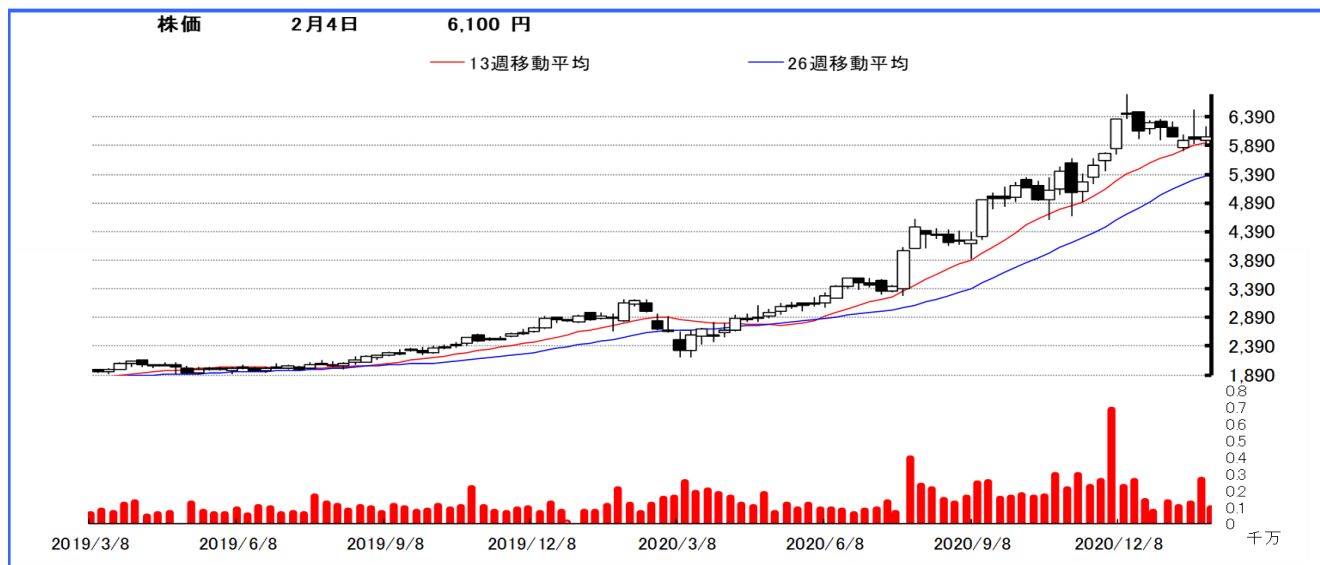
## 今週の予定

	国内	海外
2/8(月)	1月景気ウォッチャー調査(14:00) ソフトバンクG(9984)3Q決算	[北朝鮮]朝鮮人民軍創建日 [豪]全豪オープンテニス開幕(~21日)
9(火)	富士フイルム(4901)3Q決算 ダイキン工業(6367)3Q決算	[米]トランプ米前大統領の上院弾劾裁判開始 [ブラジル]1月IBG消費者物価指数(21:00)
10(水)	1月東京オフィス空室率(11:00) トヨタ自動車(7203)3Q決算	[中]1月消費者物価指数(10:30) [米]1月消費者物価指数(22:30)
11(木)	建国記念の日	[中]春節で休場(~17日)
12(金)	マイナーSQ 楽天(4755)本決算 東芝(6502)3Q決算	[欧]12月鉱工業生産(19:00) [露]中央銀行政策金利(19:30) [印]12月鉱工業生産(21:00)
13(土)	NISA(少額投資非課税制度)の日	金正男氏がマレーシアで暗殺されてから4年
14(日)	バレンタインデー	[スペイン]カタルーニャ自治州議会選

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄 コーエーテクモ (3635) 東証1部



19年03月期 (百万円)		20年03月期 (百万円)		21年03月期(予) (百万円)		株価(2/4)	6,050 円	
	前年比		前年比		前年比	業種	情報・通信業	
売上収益	38,968	0.1%	42,645	9.4%	56,000	31.3%	時価総額	7,821 億円
営業利益	12,092	3.3%	14,102	16.6%	22,000	56.0%	PER(予想)	31.71 倍
経常利益	18,307	0.1%	18,869	3.1%	33,000	74.9%	PBR(実績)	5.11 倍
当期純利益	13,694	5.2%	15,306	11.8%	25,000	63.3%	ROE(実績)	12.71 %
EPS(円)	108		120.85		196.66		配当利回り(予想)	1.61 %
配当金(円)	55		61		100		担当	志田 憲太郎

出所:業績に関する数値は決算短信、決算説明会より

2009年に家庭用ゲームソフトのコーエーとテクモが統合して設立。家庭用ゲームソフトやオンラインゲーム、スマホゲームなどのエンタテインメント事業、スロット・パチンコ、アミューズメント施設運営のアミューズメント事業、賃貸用不動産の運用・管理などの不動産事業がある。20年3月期の売上構成比はエンタテインメント事業が91.7%、アミューズメント事業が6.7%、不動産事業が1.6%。21年3月期3Q累計決算は、前年同期比64.7%増収、営業利益は3.0倍、最終利益は2.3倍となり通期の見通しも上方修正した。3Q単独では四半期で過去最高の売上・営業利益を達成した。売上の内訳は、3Q累計でパッケージ版が前年同月比78.1%増、ダウンロード販売が同79.6%増、スマホ向けが同86.5%増とエンタテインメント事業の主力事業全てで大幅増収となっている。また、3Q累計の売上高は国内49.8%に対し海外が50.2%となり比率が逆転した。家庭用ゲームではNintendo Switch向けソフト「ゼルダ無双 厄災の黙示録」が3Q単独で全世界で350万本を突破し大ヒットとなったほか、「仁王2」が累計ダウンロード数140万本を突破するなど貢献した。モバイルゲームでは、中国で「三国志・戦略版」が大きくヒットしている。IP供給先の Tencent が中国で「真・三國無双 覇」をリリース予定のほか、アリババが「三国志・戦略版」を1月に台湾で、2月に韓国でリリースする。日本でも「三国志 霸道」が好調。「無双」シリーズは国内では人気があったが、海外でヒットしたことにより今後は様々なIPとコラボしたシリーズの販売が期待できるほか、「ゼルダ」の続編も期待できる。また三国志シリーズは固定ファン化しやすく、中国でのヒットは海外での一定数の固定ファン獲得が期待できる。来期も大型タイトルを予定しており巣ごもり需要も継続される見通しで、さらなる業績の拡大が見込めそうだ。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(2/4)	コメント
<b>大日本住友製薬</b> (4506) 東証1部 1,758円	21年3Q累計の決算は、前年同期比10.6%増収、7.5%営業増益、59.8%最終増益となった。臨床試験中止に伴う繰延税金資産の取崩し要因がなくなったため、法人所得税が大きく減少し、最終利益は増加した。日本においては、2型糖尿病治療剤「エクア」及び「エクメット」が増収に寄与。北米では精神病薬「ラツータ」の売上が拡大し増収に寄与した。営業利益、コア営業利益ともに3Q時点で通期予想を超過しているが、通期見通しの変更はなかった。(志田 憲太郎)
<b>ファンケル</b> (4921) 東証1部 3,840円	10-12月期決算は、通販の伸びや経費削減に加えて、新型コロナの感染拡大が落ち着いてきたことで店舗販売が増加し増益転換となったが、11月後半から新型コロナの感染が再拡大したことで、通期計画は下方修正。12月から健康な人の免疫機能の維持を助ける機能性表示食品「免疫サポート」の販売を開始。ドラッグストアからの引き合いが強く、12月中に売上4億円を達成。1月にはTVCMを実施しており、ヒット商品へ成長することが期待される。(松本 直志)
<b>富士電機</b> (6504) 東証1部 4,370円	新型コロナの影響を受けて自販機などの販売が落ち込み、21年3月期3Q累計決算は前年同期比8.2%減収、16.4%営業減益となったが、パワー半導体の需要増やFA製品の底打ち、原価低減などにより、3Qは前年同期比5割超の営業増益へ転換。3Qのパワー半導体の受注は前年同期比30%増加。特に、自動車向けパワー半導体の受注が前年同期比64%増、電動車向けは約2倍の増加と好調に推移。需要増が加速しており、生産能力の引き上げに取り組む方針。(松本 直志)
<b>TDK</b> (6762) 東証1部 15,540円	3Q決算は前年比11.3%増収、11.6%営業増益、2Q比で3.7%増収、2.5%営業増益で着地。3Qの状況と直近の受注状況を踏まえて、通期計画の売上高を上方修正する一方、構造改革費用120億円を織り込み営業利益については従来計画を据え置き。会社側は毎年ある旧正月時の稼働停止影響や価格下落について保守的に織り込んだとしている。3Qの利益はやや伸び悩んだが、顧客都合により4Qへの期ズレ案件があったことに加えて、先行開発費用を積み増したことが主因。(多功 毅)
<b>村田製作所</b> (6981) 東証1部 9,600円	3Q決算は前年比14.2%増収、36.3%営業増益、2Q比で10.2%増収、35.2%営業増益で着地。5G端末を中心としたスマホ新モデル向けにセラミックコンデンサ、樹脂多層基板、高周波モジュールが好調に推移したうえ、自動車向けも生産台数の回復に加えて、電装化の進展でセラミックコンデンサを中心に、インダクタ、センサなど幅広い電子部品が伸びている。スマホ向け部品について、3月に一時的な調整リスクを織り込んだ上で、通期業績計画を2.3%増収、14.5%営業増益に上方修正。(多功 毅)
<b>任天堂</b> (7974) 東証1部 61,580円	21年3月期3Q累計の決算は、前年同期比37.3%増収、98.2%営業増益、91.8%最終増益だった。併せて通期の見通しを上方修正した。2Q発表時に比べ14.3%増収、24.4%営業増益、33.3%最終増益。配当予想を前回1,260円に対し、1,680円に引き上げ、さらに200円特別加算し1,880円に増額した。ハードウェアの売上台数は、Nintendo Switch、Lite合算で3Q単独で1,157万台、累計7,987万台となっており、これまで過去最高の販売を記録した「Wii」の1億台が射程距離になった。また通期の販売台数予想も引き上げた。足元の好調さを考慮すると会社予想は保守的で再度の上方修正の確度は高いと思われる。(志田 憲太郎)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室